

# 2018年(第53回) 日本産業広告賞 入賞会社一覧

<新聞部門>	掲載日	スペース
<b>日刊工業新聞広告大賞</b>		
コマツ	6月13日	全30段
<b>第1部</b>		
第1席	コマツ	6月13日 全30段
第2席	パナソニック株式会社	3月26日 全30段
第3席	NEC	9月13日 全30段
佳作	三菱電機株式会社	9月14日 全30段
佳作	株式会社安川電機	11月28日 全30段
<b>第2部</b>		
第1席	NEC	9月14日 全15段
第2席	三菱電機株式会社	9月13日 全15段
第3席	パナソニック株式会社	2月16日 全15段
佳作	戸田建設株式会社	3月28日 全15段
佳作	キヤノン株式会社	7月6日 全15段
佳作	株式会社三菱ケミカルホールディングス	3月6日 全15段
<b>第3部</b>		
第1席	三木プリー株式会社	9月12日 全10段
第2席	三井物産株式会社	3月23日 全7段
第3席	株式会社富士通ビー・エス・シー	3月28日 全7段
佳作	三井不動産株式会社	3月23日 全7段
佳作	株式会社日立産機システム	7月26日 全7段
佳作	シンフォニアテクノロジー株式会社	1月29日 全7段
<b>第4部</b>		
第1席	日立建機株式会社	6月28日 全5段
第2席	岩崎電気株式会社	8月20日 全5段
第3席	三木プリー株式会社	8月29日 全5段
佳作	NKE株式会社	4月20日 5段1/2
佳作	株式会社印南製作所	7月23日 全5段
佳作	株式会社不二越	9月3日 全3段
<b>シリーズ第1部</b>		
第1席	パナソニック株式会社	3月27日他 全15段×3
第2席	トヨーカネツソリューションズ株式会社	10月17日他 全15段×6
第3席	三菱日立ツール株式会社	5月29日他 全15段×3
<b>シリーズ第2部</b>		
第1席	文化シャッター株式会社	9月11日他 全7段×4
第2席	株式会社富士通ビー・エス・シー	7月30日他 全7段×3
第3席	株式会社富士通エフサス	12月19日他 全7段×4
佳作	株式会社佐藤鉄工所	11月21日他 15段1/3×3
佳作	株式会社印南製作所	11月8日他 全5段×4
佳作	株式会社共和電業	4月10日他 5段1/2×2・全5段×1
<b>モノクローム広告賞</b>		
第1席	株式会社スギノマン	7月23日 全14段
第2席	パナソニック株式会社	3月9日 全15段
第3席	株式会社明電舎	12月22日 全15段
佳作	倉敷紡績株式会社	9月21日他 全5段×6・全15段×1
佳作	文化シャッター株式会社	9月7日 全7段
佳作	株式会社ダイフク	9月11日 全5段

<雑誌部門>			
第1席	三木プリー株式会社	機械技術	9月号
第2席	株式会社エイチアンドエフ	プレス技術	7月号
第3席	株式会社日立ハイテクノロジーズ	工業材料	8・9月号
佳作	トーカロ株式会社	機械設計	9月号
佳作	ケーエス産業株式会社	機械設計	7月号
佳作	三菱電機株式会社	型技術	7月号
<情報誌部門>			
第1席	株式会社安川電機	新製品情報	9月号
第2席	株式会社昭和トレーディング	新製品情報	3月号
第3席	株式会社マックエイト	新製品情報	10月号
佳作	多摩川精機株式会社	新製品情報	4月号
佳作	株式会社エム・システム技研	新製品情報	11月号

# 2019年(第54回)日本産業広告賞 参加作品募集

日刊工業新聞社は日本産業広告賞に参加される作品を募集しています。日刊工業新聞、本社発行月刊雑誌、新製品情報誌に所定の期間掲載された広告の中から優秀作品を選び、表彰します。優秀作品には本社賞、産業団体賞を贈ります。また各賞の上位入賞広告主の担当者を対象にした産業広告海外研修を実施します。

- 掲載期間  
新聞部門 2018年9月17日～2019年9月20日  
雑誌部門 2018年10月号～2019年9月号  
情報誌部門 2018年10月号～2019年9月号
- 審査方法  
審査委員会(委員長：嶋村和恵早稲田大学教授)が行います
- 入賞発表  
2019年11月中旬に日刊工業新聞紙上
- 表彰式  
2019年11月下旬  
※参加要項は本社・支社・支局にご請求ください。  
お問い合わせは  
日本産業広告賞事務局(03-5644-7310)まで。

## 雑誌部門

### 第1席 三木プリー



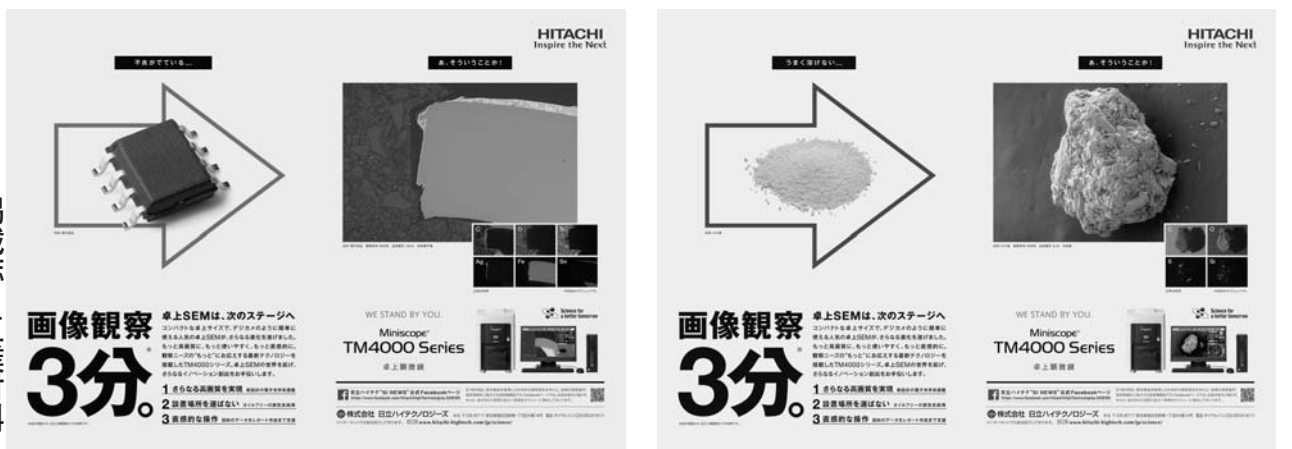
掲載誌 機械技術9月号

### 第2席 エイチアンドエフ



掲載誌 プレス技術7月号

### 第3席 日立ハイテクノロジーズ



掲載誌 工業材料 8月号・9月号

雑誌部門は、日刊工業新聞が発行する『プレス技術』『機械設計』『工業材料』『型技術』『工場管理』の6誌に掲載された広告のうち、1ページ(挿込みを含む)以上の広告を対象とするもので、本年は12社、13件の参加が挙げられる。本部門の対象作品が掲載される6誌もそれぞれ固有のターゲットを有しており、読者層にフィットした表現が広告効果を高めると考えられる。その

また、雑誌という広告媒体は比較的多くの情報量を載せることができるという特徴も持っている。こうした媒体特性を合わせて考えると、自社製品の高度な技術特性を余すことなく盛り込むこと、表現戦略の専門技術や知識をもつエンジニアであり、彼/彼女の疑問心に即応するかが作品づくりの鍵になる。

## ターゲットを絞って 表現戦略でアピール

審査会で高く評価された作品は、いずれも製品の詳細仕様の情報は少なく、消費財の広告のように婉曲的であったりユーモラスなビジュアル表現のものが多い。やはり広告には、製品カタログ、製品仕様書、ウェブサイトの製品情報などは異なる役割があるという認識が、

右向き矢印に入った電子部品と粉末を左面に、謎の物体を右面に配したシリーズ2点。右は左の物体を拡大したもので、この見え方の違いが広告製品である半導体顕微鏡の性能を一目で分かるように伝えられている。それだけでなく、このビジュアルに添えられたユーザーの声によって、この製品の顧客にとっての価値が伝えられている点も見逃せない。技術的に優れた製品であっても、顧客目線を忘れてはならないことを思い出させてくれる作品である。

## 選評 雑誌部門

一見すると何の関係もなさそうなビジュアルが、比喩的だが確かつ印象的に製品特徴を伝えるというのが、この部門の雄たけも言える同社の広告表現手法。その巧みさには毎年唖然とされるばかりだが、キレビジュアルが年々美しさを増していくように感じる。今年のモチーフは金魚だが、それを美しく際立たせるビジュアル表現に遠くから見ても同社の広告であることが一目でわかる。赤・青・グレーというビジュアル構成色が同社のロゴマークのカラーと同じなのも興味深い。

力強く押し出された仁王像のたくましい手のひらのビジュアルに、「押し、頑固一徹。」というこれもまた力強いヘッドライン。「プレス」機械・技術に一途に取り組んでいることを端的に表現するプレスの総合メーカーの企業広告である。掲載誌はもう一人「プレス技術」で、読者に同社を知らない人はいないはずである。だから「そう、こうした広告で日々研鑽の姿勢を伝えていくこと」によって、既存顧客との絆を築いていく必要があるのだと思う。

## 情報誌部門

### 第1席 安川電機



掲載誌 新製品情報9月号

### 第2席 昭和トレーディング



掲載誌 新製品情報3月号

### 第3席 マックエイト



掲載誌 新製品情報10月号

## 選評 情報誌部門

鏡に映ったワンピースにハイヒールをはいている女性をふっと見上げる、足首アシストをつけている女性のビジュアル。「私らしく、歩く。」のヘッドライン。足を患ったであろう女性が、歩行のリハビリをしているようだ。ボディコピーの「私らしく歩くために。あの日より、未来の私はもっとあのハイヒールが似合う気がする。」という表現が、つらいはずの経験を、同社の製品が前向きにアシストしてくれることを巧みに訴求している作品である。

## 多彩な表現を駆使 どれもアイデア豊富

第1席の安川電機作品は、鏡に映ったワンピースにハイヒールをはいている女性をふっと見上げる、足首アシストをつけている女性。首アシストをつけている女性。歩行のリハビリをしている。伝えないこと、十分な経験を、同社の製品に込められている。第2席の昭和トレーディング作品は、ボトルシップを組み立てることによって、同社の美装関連機器が緻密な作業をこなして電子基板づくりを行うことを巧みに表現している。第3席のマックエイトの作品は、小さな部品と組み合わせると大きなものになるという「日本発」のヘッドライン。「変な部品を作っている会社です」と会社紹介。あとは何も語らず。和風なビジュアルとさまざまな部品を見せるだけで、伝えたいことが十分すぎるほど伝わっている作品である。広告の作り方の重要さを改めて教えてくれる、シンプルでアイデアに富んだ広告らしい作品だ。

## 選評 情報誌部門

が前向きにアシストしてくれることを巧みに訴求している作品である。

## 第3席 マックエイト

錫製のピエタンブラーだろうか。端正な盆栽とともにあるビジュアル。でもタンブラーのまわりには小さな部品と思わしき物がくっついていて、「日本発」のヘッドライン。「変な部品を作っている会社です」と会社紹介。あとは何も語らず。和風なビジュアルとさまざまな部品を見せるだけで、伝えたいことが十分すぎるほど伝わっている作品である。広告の作り方の重要さを改めて教えてくれる、シンプルでアイデアに富んだ広告らしい作品だ。